

事業シート（概要説明書）

予算事業名		地方バス路線運行維持支援事業						事業開始年度		2005年度			
上位施策事業名								担当局・部名		-			
根拠法令等		与謝野町地方バス路線運行維持費補助金交付要綱						担当課・係名		企画財政課・企画政策係			
事務区分		■自治事務 □法定受託事務						作成責任者		課長・山口崇			
実施の背景		町内バス路線は人口減少等に伴い利用者が減少しているが、通学・通院などで必ず利用する町民が一定数あり、地域住民の日常生活に必要な町内バス路線の維持のため、乗合バス事業者に対し支援を行う必要がある。											
目 的 (何のために)		地域住民の日常の移動手段を確保する								16～18歳(高校生)、 65歳以上の町民の合計数			
事業概要	対 象 (誰・何を対象に)	与謝野町民の日常の移動手段								対象者数(全住民に対する割合) 8,140 人 (41.65 %)			
	実施方法	□直接実施(直営)											
		□業務委託 又は □指定管理 (委託先又は指定管理者:											

事業シート（概要説明書）						
予算事業名		地方バス路線運行維持支援事業			事業開始年度	2005年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）		単位	2023 年度	2022 年度
		路線バス乗車人員（幹線系統：伊根線、蒲入線、与謝線、峰山線）		万人	37/29	33/29
		路線バス乗車人員（市町単独路線：福知山線、峰山四辻線）		万人	4/6	4/6
					/	/
	単位当たりコスト				/	/
		1利用者あたり	/	92円		
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	京都府北部地域において、鉄道や路線バス等の広域のかつ幹線的な公共交通及びそれに接続する支線的な公共交通（移動手段）について、将来にわたって持続可能な交通体系にすることが重要。町としても幹線系統を維持していくためにも、沿線自治体と協力して一体的に利用促進を進めることを目標の一つとしている。				
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）		単位	2023 年度	2022 年度
					/	/
					/	/
事業の自己評価 （今後の事業の方向性、課題等）		【評価】 ○地方バス路線運行維持支援事業は地域の移動手段として欠かせない事業であり、高校への通学、病院への通院等様々な目的に利用され、年2回のダイヤ改正により他の路線との接続や利用しやすい時間帯に設定するなど利便性の確保に努めた。 ○利用促進として年2回沿線自治体とのワーキンググループを実施し、取組について報告・協議を行った。また年2回ダイヤ改正に併せて町独自の時刻表を作成し配布した。 ○令和5年度は大きな路線再編はなかったが、令和2年度の新型コロナウイルス感染症の影響により乗車人員数も大きく減少したが、特に伊根線、蒲入線の観光路線の乗車人員数が大きく利用が増加し、コロナ禍前までの水準まで回復した。 【課題】 ○地域間幹線系統路線の中には乗車人員数が落ち込む路線もあり、人口減少・少子高齢化社会である現在、国の補助金要件を満たす利用者数を確保しなければならない。 ○交通事業者の運転手不足により厳しい経営状況の中、継続した運行も厳しいものとなっている。 ○市町単独路線の福知山線、峰山四辻線について、令和7年3月末で廃止する。廃止後の代替交通についても検討をしているが、廃線が幹線系統に与える影響を見て、幹線系統も含めた全体の公共交通体系を検討する必要がある。 【方向性】 ○現行の地域幹線系統路線を国の補助金要件を満たす路線として今後も維持させるため、事業者・関係自治体と協力して乗継を考慮した運行ダイヤの調整や交通情報の発信、乗り方教室の開催、モビリティマネジメントの実施など利用促進に努める。 ○市町単独路線については他の移動手段などを活用して代替策とし、現行の利用者への影響を最小限に留める。 ○交通事業者の運転手不足も国、府、沿線自治体も連携して課題解決にあたる。				
	比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）					
特記事項						